


医動物・食品中異物検査結果（令和4年度）

医動物担当では、人の健康を害する、または不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受けて、昆虫類を中心に食品へ混入した異物の検査を行っています。令和4年度の食品中異物検査実績は2件でした。内訳は昆虫類1件（ハエ目）、その他（昆虫類ではない）1件でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
チャーシューに幼虫が見られた。〈9月〉	 <p>幼虫、乳白色、約2.5～5mm</p>	ニクバエ亜科の幼虫（ハエ目）	ニクバエ亜科のハエは日本で約 80 種記録されている。幼虫はゴミ、糞、動物死体などを食べて成長する。卵胎生で、1 齢幼虫を産みつける。1 齢幼虫は直ちに餌にもぐり込み、摂食を始める。
オートミール（オーツ麦）の袋に異物が混入していた。〈6月〉	 <p>黒色、約2～5mm</p>	昆虫類ではない	昆虫類特有の体節等がみられなかった。 ※食品の苦情品等検査（令和4年度）の「オートミール中の異物」（本号 P3）と同じ異物です。

【 微生物検査研究課 医動物担当 】